

広島工業大学

# 同志会誌

第2号

昭和43年

# 広島工業大学歌

歌詞 広島工業大学選定  
作曲 井 上 佳

みどりーりなーる みどりなーる みやけ ふーかーきいわれ の みく  
らをひらー き りんてつあいをーはじる われらががく ふ  
よ やゆくて せいきのがく し けんがくのみち より  
てぞきわむ あーーひろしま じうぎょうだいがく

# 広島工業大学歌

縁なる、縁なる三宅  
深きいわれの御倉を開き  
倫哲愛を誇る 我等の  
見よや行くて 精氣の  
研学の道 倭りてそ極む  
ああ広島工業大学

のどかなり のどかなり瀬戸  
青嵐そよぐ朱庭の古島  
諸人の幸榮急じ 真理にいどむ  
見よや行くて 至純の学  
貢献の道 倭りてそ極む  
ああ広島工業大学

はてしなき、はてしなき宇宙  
人の世の夢の学海を拓き  
たたかん神秘のとびら 使命や重し  
見よや行くて 至誠の学士  
體驗の道 倭りてそ極む  
ああ広島工業大学

目 次

提 言

機械工学科第1回卒業生諸君へ	
機械工学科主任教授	
山 本 博	1
同窓会会員の皆さんへ	
機械工学科流体力学実験室助手	
西 茂 夫	2

会員便り

アメリカ人見たまま	
S 38. 電子工学科卒	
大 塚 国 昭	3
三面鏡の社会	
S 41. 電子工学科卒	
服 部 優	5
社会人1年生	
S 41. 電気工学科卒	
鶴 村 悅 治	6
卒業にあたり	
S 42. 機械工学科卒	
井 手 俊 彦	7
無名のまま	
S 42. 電子工学科卒	
河 口 孝 夫	8
卒業を迎えて	
S 42. 電気工学科卒	
長 弘 裕 康	9

準会員便り

同窓会に期待する	
学生自治会会长	
橋 田 好 弘	10

クラブ紹介

野 球 部	11
ボ ー ト 部	11

学園便り

■ 母校の人々	
教務部 笠 間 美穂子	18
■ 研究室訪問	
北 山 研 究 室	18
■ 学園現況(写真紹介)	16
■ 就職状況	
就職委員会事務室長	
蒲 池 宏三郎	17
■ 証明手続について	17

同窓会便り

支 部 結 成	18
議 事 錄	19
会 計 報 告	19
編 集 後 記	20
計 報	20

規 約

会 則	24
会 員 名 簿	26
役 員 名 簿	46
教 職 名 簿	47



提

## 機械工学科第1回卒業生諸君へ

機械工学科主任教授

山 本 博

産業の高度成長の実要な役割を果した技術革新は、技術者の不足をきたしたことは御承知のようである。わが広島工業大学もその要請に対処して創立され、機械工学科の諸君も来る3月27日にめでたく第1回の卒業生として実社会に巣立つことは、誠に喜ばしいことである。学生諸君の4年間の最後の仕上げである卒業研究に、最善の努力をし自己開発の意欲を助長されたことに敬意を表するものである。

さて大学教官としての理想の姿は、よき研究者であり、よき教育者であり、大学の行政にも明るく、その上社会に対してもよき指導者でもあるべきだと思う。独創的な研究能力を持つ研究者であれば、自分の研究成果を講義として発表し学生と共に考えていけたらと思う。学生も勉強して理解のできる知識を持ち得ることが望ましい姿ではあるまい。

機械工学科の成長もこれからであり、実験実習設備も着々と進み、新築された建物にある木型、鋳造、鍛造及び溶接に関する実験実習室は来る4月より使用できる運びとなる。教官棟も次第に充実してくるので、新卒業諸君も企業が期待する根性のある技術者として益々活躍し、母校のためにも自己のためにも頑張っていただきたい。

☆☆☆

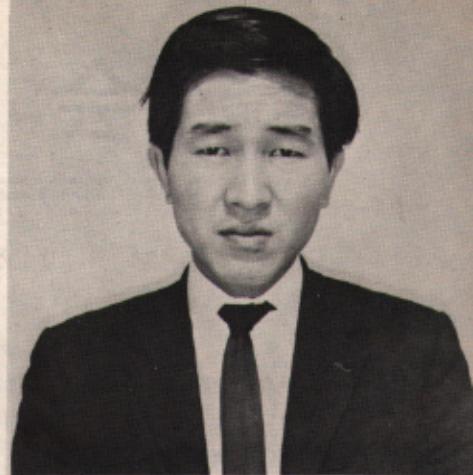


言

## 同窓会会員の皆さんへ

機械工学科流体力学実験室助手

西 茂 夫



今回第2回の同窓会会誌を発刊するに当たり、何か書いて下さいという事ですので、私が過去3年間、学校という特殊な場所ではあるが、この実社会で気付いた事を述べてみようと思う。何か役立てばと思うが………

1つは哲学する事であろう。それが自然であれ、人間関係であれ、全てその人自身が考えて行なうと云う事である。現今人はあまり考えようとはせず、風習に依る行動をし、その人の個性をなくしてしまう結果が目に映るが個性を大事にしてもらいたい。又よく調和とか協同とかいわれるが、調和して、又協同して行動する場合、大なり小なり個性が薄くなると思うが、個性を完全に無視する事ではない。協調すべき一部があるという事であろうと私は思う。この事は大学卒業生として、実社会における立場が少なからず指導的立場に立つのので、哲学して個性を發揮して行動してほしいと思う。

次に人間であってもらいたい。単に動物の分類上の人であってはならぬ。例えば私自身機械科を卒業したので機械の事の極く一部分しか知らないが、設計するに当り、加工する事が出来ないような設計を見付けたり、加工程度の点の問題とかが見付けられたりする。鉄物に於ける中木の取り付け方法が鉄物を吹いた後になつて取れないような設計とか、旋盤仕上で仕上程度が不可能とかいう問題が単に利己的な立場で考えているように思う。設計する場合には不可能

という事はないが、加工する人々の事を考えた上で計画を立てる事が必要であると思う。

第3に常識という事についてである。それが自分の専門分野だけでなく、全てに対してであるが常識をより高めてもらいたい。私は時々物に例えるが、湖の様子に照らし合わせてみると、常識はより広く、その上で自分の進むべき道はより深くする事である。この事は人間社会に於いてでも云える事であろうと私は思う。単に工学的な問題ではない。文学上の問題であれ人間の問題であれ、社会的な問題であれすべてがそうであるように考えられる。第4に今迄述べて来たすべてについていえる事ですが方法は一つではないと云う事であろう。富士山へ登るにも頂上に向って何本かの道がある。この道だけが頂上に通じているのではなく何本かの道が頂上に通じている。だから頂上という一つの目的に対してこの道しか、即ちこの道しかないという事は云えないと思うし、哲学する上においても自分の考えられるだけの方法を全て抜き出してみて、その目的に対する条件をよく考えて選ぶという事である。最後に実社会に巣立つて一番大切な事は身体があるので充分に気をつけて個性を發揮して下さい。

# 会員便り

## アメリカ人見たまゝ

昭和38年度電子工学科卒 大塚国昭

私が高校を卒業したのが、昭和30年の就職離の時節でした。当時ふらりと岩国に遊びに来たのが機会となり、外人と接することになり、早くも12年が過ぎて、その間、数多い個人的、商売上の友人を作ったけれどもベトナムの戦火が激しくなるにつれて文通も絶える時が多くなり、まして軍隊の生活になじんでいる彼等には移動の回数毎に手紙を書く事などは面倒でとても出来る業ではないようだ。

今、手許にそれら友人の住所録なども多数あるが音沙汰なしで彼等が実際にどこにいるかは全く不明である。

12年間アメリカ人を私なりに見て長所、短所などとは考えずにこんなものがアメリカ人だと思える所、アメリカ人の日本人に対する考え方、ベトナム戦争に苦悩する現代アメリカ青年、女性に対する考え方などを聞くと非常に面白い。

だいたいに於て、戦時中の有名な格言で「日本人に大和魂があればアメリカ人にはヤンキー魂がある」とは確か山本五十六元帥の言葉として記憶していたが、ヤンキー魂は大和魂と非常に差があることが解った。

彼らアメリカ人はキリスト教の国である。云う迄もなくキリスト教に於いては自殺的行為は絶対に禁じているから戦争中に我々の先輩が語っていた一億総決戦の大和魂とは大きな違いが出てくるものと推察して頂きたい。

ヤンキー魂も大和魂も自國を愛する自点に於ては全く同じであると思う。しかしこれが、ヤンキー気質と言葉が変って来ると非常に面白い事が現われてくる。

ヤンキー気質と一口に云っても彼等の出生地・育った所によって大分違ってくるけれども一貫して云えることは非常に勘定高いと云える。例えば一緒にネオンの街に行って楽しむとすると日本人ならば自分で飲んでいるビールを気の合った人達について一緒に飲む、そして楽しく

過ごすが、彼等はまずそう云う点はないと云える。自分のことは自分で子供の頃から習慣が身についているからと云えるが楽しみを自分で、金儲も出来れば自分一人でと云う考え方には日本人の生活に結びつく「何か良い事はないか」のあいさつの本質よりは確かに資本主義の代表的な大国アメリカに育った背景が大きいと云える。一般に大陸に育った人は日本人には考えられない気持の大きさといえる何かを持っている。気の短い日本人と違って気が長く、全般に陽気で生活をエンジョイしているようだ。しかし彼等にも厳しい一面がある。議論（アーギュメント）をする時に於ては決して自分の考えが間違っているとは云わない。自分が悪いと云えば相手が勝った事を意味し相手が地位的に自分より上に立つ事になりそれ以後のグループ活動に於てリーダーシップの一端を失う事を意味しているから一つの議題に対しても非常に真剣である。そして気持が良いのは如何に激しい討論を交じえようと相手を尊重し、我々が幾度か経験した激論をした後に感じる冷たい個人感情のない事である。若い世代のアメリカ人には感じないことだが一世代昔のアメリカ人には他人のことはどうなろうと知ってはいないなどの露骨な態度が時折見えるのは我々の感情に沿わない点から、これがアメリカ人の極端にアジア人の感情を刺激しているヤンキー気質ではないかと感じているのである。

私が経験した所、又はアメリカ人から直接聞く日本人に対する感情、考え方は個人的な違いはあるが殆んどの人間が日本人も中国人もベトナム人も、有色人種としか考えていないと推察される。自國に於てさえ人種差別のある国が日本人を自分達より上の人物であるとは思っていないし同等であるとも思っていない。いわゆる日本人は征服された民族であるとの考え方方が根強く残っていることである、彼等の考え方の中

に「強者は弱者を従える」との事があるが、私は永年彼等に接してその事が少なくとも間違っていない事を一層深く感じるのです。

私は実際にアメリカ本土には行った経験が無いから日本人に対する彼等の考え方は、日本に来ている彼等の極一部の人からしか聞くことは出来ないが、以下は親しく交友のあった人達の日本に滞在中に色々聞いたことである。

日本人をどう思っているかの質問を設定して見よう。

その答はいつも同じである事に、最初は失望を感じたものです。それはその答がいつも「日本は素晴らしい国だ、古い歴史、祖先の残した遺跡、人は皆元気そうでとても我々に友好的であると」遠い米国から未知の国の日本に来て最初に感じる第一印象はそうであるに違いないが、米国が日本に行くための初步的な教育を施し、上に設定した質問には私が感じた失望の答を得られるように、しくまれていることが解る。しかしこのような答はその人が長く滞在することにより、より多くの日本人と接し、言葉の不自由さを感じながらも、彼等は彼等なりに観察し、又実際に見て来た日本人の行動、日常生活について、色々の疑問を持ち始めその都度我々に質問をして本当の日本人の姿を知ろうと努力して行なったものでした。

面白い質問の中に「日本人は飲む時にどんどん飲むが実際に幾ら位のサラリーを月に貰っているのか」とか「日本人の笑顔は何を意味しているのか」等

彼等は日本人独特の笑顔には全く理解出来る知識がないようで、我々は怒られればてれ笑いをし、咎められると笑い、猥談をしながら笑い非常に笑いの多い民族である故に外国人にはその笑いの意味を汲みかねるようであると感じた次第です。

その意味では日本女性は得ですね。自分に勝手が悪くなると作り笑いでもして逃げを打ってしまう。米国人の男たるや本国ではいやと云うような錯覚?に陥ってしまうようで、私が会って話した限りでは日本の女性は可愛く 親切?であるそうだ。

米国の女性はきれいな人は多く見かけられるが可愛い感じの人は以外に少ないし、食物の関係かも知れないが、皮膚の感触が何となく荒いし多毛であるから、日本女性の肌のきめの柔らかさには特に興味を持っているようだ。日本人は一般に胴長の人種であるが胴長は性感が非常に鋭敏であるそうで日本人の豊かな生活と併せて神経の発達に役立っている。

坐ったり立ったりする動作が筋肉の発達を促す結果を持っているからだとされている。

現代の生活に於て徐々にその生活から遠ざかりつつあることは非常に残念と思うのは私だけであろうか。

女性といえばベトナムの女性も非常に美しい人が多いそうである。しかし多くの米人達はその人達に接する機会が無いそうである。ベトナムの反米感情は予想外に高く、若し、一晩でも一緒に居ようものなら、翌朝には冷たくなって道路の端に放置されているそうである。

ベトナムでの生活が如何に悲惨であるかは帰って来た米兵から聞くのが一番手早く解る。雨が降れば泥海、風が吹くと砂だらけ、伍詰を開けて喰べるだけの食生活、だから二度とは行きたくないそうだが .....

そんな中で彼等は彼等なりにベトナムで、共産主義と云う幻影に打ち勝つために果し無い泥沼の戦いに足を踏んでいく。

一度戦場に出た彼等はベトナム人の独立運動の激しい熱の塊に肝を冷やすのである。そして自分の命を守る為に人を殺すと云う概念を作りあげて今日も斗っている、自分自身ひいては米国自身の姿を私はそこに見たような気がしているのである。

ベトナム戦争と米国人については又の機会をお借りして詳しく書きたいと思います。

## 三面鏡の社会

昭和41年度電子工学科卒 勝 部 優

入社以来やがて1年を迎えようとする今日、自分の歩んだ道を振り返ってみると、何とその多事雑多に驚いてしまう。最初の数ヵ月か1年間は試験的にあらゆる仕事をさせるのが各社の一般であろう。このような期間におかれた自分は、広く仕事を覚え、当社で何をすべきかを考える事に多くの時間と神経を費した。そして最後に、最も適した専門を発見し、又上司から指摘され、その部門に落ち着き、今は一つの仕事に専念している。このような私の過去半年余の道では多事雑多という語感以外思い当らない。企業系列の傍系にある当社は、専ら制御装置の製造をしているが、他方、小規模ながら開発にも力を注いでいる。

開発部門の一分子となった自分は、現在研究所に入所して、研修の日々を送っている。そこでは毎日の生活を技研日誌に記すことを義務づけられている。入所当時の頁をめくってみると、内容は乏しく、実験の失敗が目立ち、处处自分でも理解できない記事さえある。

上司の指導を受けながら、事ある毎に学問の浅さを痛感し、いかにも自分の姿が小さく貧相に映ったか知れない。確かに学生時代、物で触れ、教師から教わった覚えはあっても、実践の場では不思議に実を結ばない。このようなとき、過去の貴重な時間を軽率に費した事を強く感じ、もはや回復できない時の経過の必然性の前にはただ後悔だけが残るのである。過去の空白は明日からの努力で挽回しようという意欲が沸いてくるのもこの時である。しかし、このような事が繰り返されると、挫折感を抱き、明日の希望から離れ、自分の能力に疑問を持ちはじめる。

と同時に倦怠感が訪れる。もはや、自力を頼めなくなり、そこから這い出るために他力を求めるとする弱い面が顕しくなってくる。このようなとき、何らかの暗示によって、一気に救済されることが度々ある。重さに敏感な天秤に同じ自分の心境は、入社以来の複雑な事務のため激しく左右に動搖した。この変化も、度重なると鈍感になるのであろうか、次第に動搖が少なくなった気がする。天秤にかかる荷物の内容を判別しながら、無駄な動搖をしない事を願いながら現在も仕事を続けている。このように述懐すると、いかにも苦痛の連続であったかに解されるかも知れないが、大学の構内から社会へ飛び込んだ時点から、人生の営みの面白さに触れることの好奇心を抱いて過した日々は楽しいものであった。それは多種多様の人間模様で織り成された社会、そして一研究所。そこでは如実に個性を頭して人々が働いていた。個性のある一人一人が、うまく組織の中に収まって、一つの船を作り上げる事に力を集めているのを見た。私はその光景にとても興味を覚え、しばし観察した。次に自分の個性を考えた。いかにしてこの職場に自分を生かそうか、誰か参考になる人物はいないだろうか、このような思案をするときは、とても早く時間が過ぎた。又仕事から放れて、娯楽などに興ずるときは、一層近く観察でき、親密感が増してきた。広く人に接し、観察することは結局自分自身を鏡に写すことになり、更に社会の矛盾と疑問から来る動搖と斗うとき、深く心の内部を写し出す事ができる。このように考えて、私は現在を三面鏡の中の社会だと思っている。

## 社会人1年生

昭和41年度電気工学科卒 鶴村 悅治

社会人一年生として、社会に巣立って半年余とまどいながらも、なんとか過して来ましたが、4月に入社して現在までの経過を少し紹介します。

3月31日に可部に有る職員養成所に入所し、翌4月1日に入社式を行ない、構内に立ち並ぶ電柱に登らされました。この時のつらさは、現在では笑話として仲間の間で語られる程度となりましたが、各自の胸の中に忘れる事なく収められていると思います。ここでの日程は朝6：20起床 10：20就寝とギッシリ組まれ、その上麦飲で油を絞られ、学生生活の時とは、全くの違いでした。2週間の養成所での教育を終え、各現場へ実習として出され、ビル工事の配管、配線をさせられたり、外線（配電線）の徹夜作業にかり出されたりして、4カ月余の日数を経て、現在の設計第1課に正式配属となりました。現在の仕事は、一般住宅、ビル、病院、工場、体育館等種々の建造物の電気設備の設計及び見積をやっています。電気工学を専攻していても、建築物の構造や工事関係の事を良く知らねばならなかったり、初めてみるものや、聞くものも多く毎日が勉強の連続です。図面上でコンセントを5%動かすにしても、線1本引くにしても考えたあげくに書いて、主任のところへ持つてゆき図面がまっ赤になる位修正され又消して書き直したりしていたのですが、現在では赤の部分が少なくなりましたが、図面の構成や、焼いた時にきれいに出る様にと考えて書きますがなかなかうまく書けません。一人前に成るのに3年位かかると言われていますが、なかなかそのペースに乗れそうもありません。早く一人前に

成る様に努力はしていますが電気工事と云っても範囲が広く苦労していますが、一生懸命がんばっています。

わずか半年余の間に感じた事ですが、技術面に関しては何んとか、自分で意識して行なわなくてもある程度向上はしてゆくと思いますが、人間関係だけは、うまくやってゆける様気を配るべきだと思います。そして自分が上司にはめられたりしても決して天狗にならず初心を忘れない事が大切だと思います。しかし、技術の向上も決しておろそかにしてはいけないと思います。行きあたりばったりでなく一つの仕事に対して終りまでの計画を立て、チェックを忘ることなく仕上げてゆく事が大切です。なぜならば我々は技術だからです。私自身の仕事は、ここ当分建築ブームは続きそうですから、ますます忙しくなって来ると思いますが自分の書いた図面の建物が立派に竣工する日を夢みてがんばっています。

私の会社にも今年度は8人の入社が決ったとか聞いています。何年か先、工大の卒業生のグループで霞ヶ関ビルの様な大規模な設計を楽しみにしています。

☆☆☆

# 卒業にあたり

昭和42年度機械工学科卒 井 手 俊 彦

いよいよ卒業に当り期待で胸がいっぱいあります。ふり返ってみると、4年前私が工大に入学した時は山の中に建物が数個あるだけグランドもなく、山の中にある小さな大学であったのが、今では押しも押されぬ、中国随一の大学に成長したのであります。これには先輩、教職員の皆様の血とあせの結晶だと確信します。先輩と共に私自身、大学の発展の為に寄与できるか不安です。大きさに於ては、中国随一の大学になった本学はまだうぶ声をあげたばかりで、木にたとえるならば丈ばかり大きくなつて、中身が少ないので、この中身に相当する重みを作っていくのは我々に与えられた使命ではないでしょうか。

その為には我々卒業生は一丸となり、先輩とスクラムを組み、机上の論議だけでなく、世界・教育情勢に応じた活動をして、工大の学風をつくり出す事だと確信します。現在の同窓会の役員の方々は、大任を背おって努力されておると思います。現在のように年々、卒業生が増加してくれば今までの組織でなくもっと違った型体をとるべきではないでしょうか。先般、同窓会の役員の方と「生命の水」をくみかわしながら話したのですが、総会を開いても人数が少ない。建設的な意見が出ないとの事、これらの原因になっているのは、1.組織的な問題、2. 同窓生としての自覚の問題ではないでしょうか。具体的に申しますと(1)の問題は将来はできると思いますが、全国各地に同窓会の支部を作る事です。そうすれば本部との連絡もとれ綿密になるのではないかでしょうか。(2)の問題は在学生にも

言える事ですが工大生としての自覚が欠けています。我々工大の卒業生は全国どこへ行ても胸をはり、社会のリーダーとなるべきだと思うのであります。その為には同窓会と自治会のつながりを密にする事、具体的に言うならば、同窓会がもっと力を持って、学園全体を引っぱっていくと同時に、自治会に対しても適切なアドバイスを与える。極論すれば「自治会に対し“金は出す”また“口も出す”」という方針で、全国の大学の自治会のように偏向した左翼学生運動に走るのを防ぐ、彼らは学生の本分を忘れ、少数の指導者によっておどらされている。“彼らは学生でない”我々は学長先生の言葉のように“教育は愛なり”“神と偕に歩む”この気持で学園は神聖な、教育の場として政治的なものを導入してはいけないのではないかでしょうか。我々は社会のエリートとしての自覚を持ち、学園・同窓会・自治会の発展に寄与してこそ、我々新しい大学の卒業生に与えられた使命ではないでしょうか。これらの実現の為に同窓生一丸となって、各自の立場を生かし、努力したいものです。

何事にもフロンティア精神に忠実な人がおってからこそ、物事は次第に完成・充実していくのではないでしょか、皆様の御健闘をお祈り致します。

☆☆☆

## 無名のままに

昭和42年度電子工学科卒 河口孝夫

広島工業大学の第三期生として会誌に名を記し得ることは、この上なき榮誉であります。「神と共に歩み、社会に奉仕する人間の育成」の学長訓を謹聴いたしましてから早や4年の歳月が流れ、学生生活も余す所僅かとなりました現時点に於きまして、大学生活9千時間の消費者としてその消費効率を熟思し、もって来るべき社会生活の指針といたしたく、ここに私見を述べ、社会で活躍しておられます先輩諸氏の御批判を仰ぎたいと思います。

振り返って見ますに、一般教養課程の履修に始まり電子専門課程の研修に終りました科学するための基礎学習過程が、今日その全姿を明らかにしました母校発展過程と、一方が質的他方が量的という相異はありますが、全く同一のパターンであることに驚異を感じますと同時に、母校のすばらしき全姿完成が内在する強力な組織エネルギーの蓄積と効果的消費に起因することを思いますとき、学究生活の形成を急ぎます私が何をエネルギーの源に定め、如何にして習得すべきかに苦慮いたしますのも、母校に学んだものとして当然のことと云えましょう。

第二次大戦の初期に生を受け、アメリカ的民主主義のもと自由を酷使し、マスコミに便乗して消費文化を寵愛して来ましたが為に、卒業研究に於いてただ既成知識の羅列を終始余儀なくさせられ、何等創造的精神活動を営むことも出来ない白痴同然の私を見つめたのであります。芭蕉は「古人の跡を求めず、古人の求めたるところを求めよ」と門弟に説いていますが、斯くの如き私には痛く反省させられる言葉であります。在学期間に多くの理論を学びそれを既成理論として、その応用のみに悪戯苦闘して来ました故に、かって一度もその理論が成立過程まで溯ってそこに流れているものを究めてみようなどとは考へてもみませんでした。

しかし、学究生活の究極目標が真理の探求による新理論の創設にあると考えますとき、「古人の求めたる所を求める」必要性を痛感し、それを徹底的に追究することによってのみ既成理

論の生命に触れることが出来、そのことによつてさらに自己に内在する情緒を育てることも可能となるのだと思います。従つて情緒がこのようにして発達してくれば、絶対の信頼を与えてきました自然科学の諸理論が、はたして大自然の真理をありのままに捕えているものなのかという疑問が当然生じてくるであります。

人間は知・情・意の三体の合一によって智的活動を営んでいますにもかかわらず既成の諸理論は情の存在を無視して来ていますので、情緒はそれらを真理とは納得しないであります。このことは、情緒的にはどうしても矛盾すると思えない二つの命題をともに仮定しても、知的には無矛盾であることが証明されています。すなわち知的には、いくら無矛盾であっても情緒的には無矛盾ではないということなのであります。従つて、どんなに知性や意志が真理であると主張してみました所で、それらは情緒を納得さし得る力は全くありませんし、人間は情緒が納得しなければ、本当に納得しないという存在なのであります。このことがはっきり証明されました以上、自然科学は最早や知性の世界だけに存在しうることは許されず、情緒（感情）をも入れた世界に存在しなければならなくなってきたのであります。そこで、これから科学するものとしては、どうしても自然科学の諸理論に情緒を注ぎこみ、知・情・意の備わった新しい理論体系を確立するよう努力しなければならないと思います。そして情が理をも包含し得たとき、又、全科学を表わし得る新しい言語が誕生したとき、やがて生れくる第二の生命DNAをも含めて、初めて人間は大自然の中での調和的存続を為遂げることが出来るようになるであります。

この果しなき夢の可能性を求めて、私は「色即是空、空即是色」を糧とし自らの内に宿る自然性の充実に努めるのみであります。たとえこの道の路傍の石として生涯を終るとも、決して悔いすることはないであろう。

# 卒業を迎えて！

昭和42年度電気工学科卒 長 弘 裕 康

今春、卒業を迎へ、本学園を巣立ち、新しく社会の第一歩を歩み出す我々に取って、社会に対する不安、期待で多少共動揺せざるを得ない。だが諸々の点に於いて、認識を新たにすべきであろう。

暗れて、広島工業大学の同窓生の一メンバーとなれる事に誇りを持つと同時に、我が広島工大のカラーを失うことなく、一層強固なるものに定すべきであろう。

例年催されている同窓会の集い、総会の状況を会報誌で見ても周知の如く大変参加者が少ない模様である。

これは真に残念な事である。

本来、同窓会の旨は、人生の飛躍の踏み台ともなるべき大学生活を、又人生を語り合う友を選ばれた事であろうこのキャンパスを、基として卒業生諸氏との交友、コミュニケーションの緊密化、職場の情報交換を媒介として更に発展させようという念を持つべく事は当然の理であろう。

いわゆる母校愛を通しての進歩、向上である。これは勿論、恩師の先生方を初め会長、同窓生諸氏の御助力、御協力によって出来得るものであるが、更に一層の向上を望みたいものである。

現在この総会参加者数が少ないという問題に対し何らかの打開策は無いものであろうか。

我々の思うに一旦社会に出て職場に着かれた場合、母校広島、中国地方を離れると総会出席にはかなりの御苦労が有ろうと思えるが………又今、卒業を目前に控えた我々は、卒業試験終了と共に各地に散り卒業式に参加出来ない友とは、4年間も共にしながら顔を合わさずして別れる事は甚だ残念である。この点に於いても同窓会執行部の方々、検討する必要があるのではなかろうか。

最後に我が工業大学の発展、設備充実に合いまった、実質共に向上した工大の気風を形成し優れた人材を送り出す広島工業大学として育て上げたいものである。

## 世界の眼鏡設備と技術がメガネの田中に結集!!



技術と！サービス！

あなたのメガネチェーン  
本店 / TEL 47-1211  
東前店 / TEL 41-3515  
スタイル店 / TEL 62-2906  
ひろでん店 / TEL 71-0980  
喜山店 / TEL 2-1818  
シャルム西中 / TEL 47-0014  
具店 / TEL 31-0511

メガネはあなたの……

個性を生かします。

# 準会員便り

## 同窓会に期待する

広島工業大学学生自治会

会長 橋田好弘

昭和48年度卒業生の皆様、御卒業おめでとうございます。現在は、社会に出られることに対しての期待と不安が入り混じった複雑な心境であろうと察察いたします。

先輩が間もなく社会人として、社会の種々の産業分野に於いて、各自の能力を生かされ益々、我が国の産業発展の為に、尽力されることを想うと頗もしく感じます。しかし、現代の複雑な社会においては、唯、自分の職業だけ、全うするようにしさえすれば良いといったものではないと思います。我々は、一方においては、同時に、世の中の芯棒であり、国家と民族を背負う使命を持っていることは、万人の認めるところであります。その意味では私達は、どのように責任ある行動をとればいいのでしょうか。

社会人だからといって、自分の利益だけを追求していればよいといった理由はどこにもありません。マイホーム的な見方からすれば、たしかに、大学卒のレッテルは、中卒、高卒に比して有利な立場にあり、しかも工学部卒であれば好都合だ、そのような思考の持ち主が特に、戦後の教育者の特訓により多くなっているが故に、又、社会の動向も同時に方向性を失い、例えは、羽田や佐世保で日本人同志が、流血惨事を起こしている現状は、一体何を意味しているのでしょうか。

この一種のアレルギー的性格を持つ、日本人の主体性の喪失は、学外のみならず、学内にもいつの時代にも残存しうる大きな問題であります。在学生としては、先ず学内における種々の問題の意識に敏感になり、解決することが先であり、その結果、社会に出てからの国家の問題に取り組み、解決すべき方向に努力する糸口を見いだす方法を学生時代に身につける必要があると思います。本来の日本民族の基調を正し、1日も早く分裂した国論を統一する為には、やはり我々青年が、音頭を取らねばならないと思います。特記したいことは、今年は、明治100年の年であります。

我が國が、明治時代に開国し、日清、日露に始まる戦争から、大東亜戦争に至るまで、幾多の困難に会いながらも、その間の日本民族の崇高なる團結精神は、敗戦以後20年間、急速度を低下をして来たことは、万人の認めるところであります。敗戦当時、日本国民は虚脱状態に陥り、その上に経済的困窮に加えて、食糧不足はあまりにも、急激な変化を生みました。

しかし、それが日本民族精神の喪失に連なったのでありません。それは、特に外来文化・思想・

哲学・経済体系を全て善しとばかり受け入れ、「文明開化」とか、戦後においては「民主化」という美句で、数10年間の間に、いつの間にか喪失されたものであります。特に日教組の教育の影響は、多大なるものがあります。今、日教組のどこがどうだということは、適当でないと思いますから、省略させて頂きます。

国家全体のことにしてよ、個人的な事にしてよ、それが自分の利益にならなかった場合、行動しなくなかった原因は、どこにあるのでしょうか、何か、それでは済まされないものがあります。特に1970年の安保改定期に至っては、とりわけ、我々、国運を任せられた青年にとっては、単にそれが好きだから、嫌いだからとか、興味のあるなしに拘わらず、現代の日本青年に、必然的に降りかかる、我々が解決すべき問題ではないでしょうか。

明治100年を機として、当時の志士達が如何にして、日本国の主体性を堅持し、外来文化を受け入れ、祖国の発展の為に尽力されたか、その崇高なる精神と情熱を再考すべき時であります。ともすれば、外国の土地で形成せられた、思想・哲学を全て善しとばかり受け入れ、一部の学生は、それを絶対視するに至っております。何か困惑状態を続けている、祖国日本の再建の為に、私達と共に努力しようではありませんか。私は、今期卒業される先輩と、すでに社会人となられた先輩に対し、学内の方に後援会として“もっと何か援助を”と頼んだりは致しません。もっともっと日本の社会を、住み良いように努力されることを望みます。それが一番の、後援会としての、贈りものとなると確信しています。

ここで昭和48年度、我が工業大学学生自治会執行部員を紹介します。

役職	氏名	学科	出身校
会長	橋田好弘	3機 三菱造船広島造船 工業学校造船科卒、松本商業定時制卒	
副会長	金堀一郎	2建 三原東高卒	
"	児玉	2子 広工大附工高卒	
書記	竹内一三	1建 崇徳高校卒	
"	大久保信登	1建	
"	真鍋典義	1機 松山南高校卒	
会計	丸山慎次	2機 向原高校卒	
"	並川幸嗣	1経 具広高校卒	
体育局長	住岡紀武	3子 工大附工高卒	
文化局長	稻田徹	2機 松山南高校卒	

精気、至純、至誠を誇る、我が工業大学の発展の為に、執行部員も日夜努力する決意であります。先輩も、母校の為、日本国再建の為に、健闘されることを切にお祈り致します。



## 広島六大学野球連盟正式に誕生

中国新聞社提供

### 野 球 部

本年2月9日の全日本大学野球連盟の総会で  
広島六大学野球連盟が正式に承認された。

思えば、野球部発足から1年半余のことである。正直の話、広島で六大学野球が開催されようとは当時夢のまた夢であり、ましてやこれほど順調に連盟が承認されること事体予想外であった。これもひとえに同窓生の諸兄と関係者のご努力の賜と感謝しております。広島は從来西部地区に所属し、全日本大学野球選手権大会に出場するには、この西部地区の中・四国のお加盟大学のトーナメントで優勝した大学が出場することになる。したがって、公式の試合は、この予選と秋の学生野球協会結成記念大会の二試合のみであった。これでは到底学生野球の本分と仮に選手権に出場したとしても、その意義も十分でなく、また勝ちぬもない。

わが野球部もこの広島県における大学野球の短い歴史とともに踏んで形を成し、一昨年の春学生野球の技術向上に学生時代から現在に至るまで精励されている原直詞氏（広陵→明大→広陵監督→日大藤沢高校監督→東洋大コーチ→本学）を監督に迎えてからは草野球の域をはるかにはなれ学生野球の本分たるアマチュアスポーツとしてのみでなく、フェアの精神を体得するとともに、幸運にも躊躇せず悲運とも屢々の強烈な情意を涵養し、いかなる艱難をも凌ぎうる強健な身体を鍛錬にいそしみつつある。

昨年の秋のリーグ戦には、それまで準硬であった広大と、昨年4月から開学した経大が加盟し、初の六大学リーグ戦を試み、本学は勝点5という好成績で優勝を導いたのである。しかしこの優勝をいしづえとして、今後長い歴史をた



どらねばならぬ。野球部はひとり工大野球部の名においてのみでなく、他の五大学をリードし、この連盟充実の力を倍加せねばならぬ使命がある。そして、神宮球場において、はるか先を邁進する伝統のそうそうたる大学野球諸部を看取し、一歩一步その心臓に近づかねばならない。

また、一方心技ともにきたえあげられたアマチュアスポーツとしての使命を果たすべく、他の野球に求められぬ独自の魅力ある野球をグランドに繰り広げ観客の大いなる拍手を得ることも道標の一つなのである。

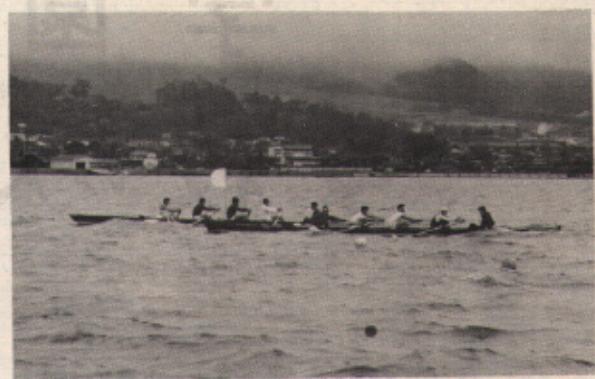
去年の優勝戦における晚秋の工大球場にかけて見られぬほどの学生諸君が集い校歌を奏して選手の力を鼓舞してくれた若い壯快なムードは今だに忘れることができない醍醐味であった。この感激をここに集う学友に幾重にも語りつき、やがて散じて行く者の心に尊い青春の証として残してもらえたなら幸である。広島での試合にして、また東京の桧舞台における後輩の勇姿を期待して、その大いなる後援を切に願うものである。

広島工業大学野球部

副部長 顕 尾 洋

## ボート部

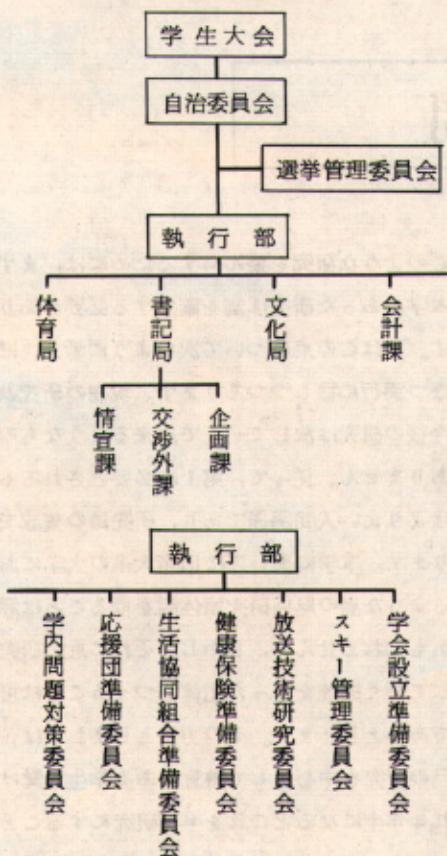
我が部は部創立以来3年目で、この間41年度の関西選手権に初出場して、予選、準決勝を順当に勝ち抜き決勝にて一艇身差で、準優勝。その年の大分国体に出場準決勝で敗れて涙をのむ。明けて42年の春、朝日レガッタ（滋賀県大津）に出場、予選、準決勝を大差で進み決勝で惜しくも一艇身差で準優勝。その6月の松江での中国学生選手権リーグ戦に5戦全勝で優勝、2軍も岡山へ遠征し中国四国選手権で3位、又7月の関西選手権では気力で戦って惜しくも半艇身差で準優勝とこれまでいい所までいきながらあともう一步で、西日本においてナックル部門での優勝は出来なかった。今年は新たにシェル部



第20回記念朝日レガッタ  
昭和41年6月29・30日 関西湖レーサードコース

門に進出、これにおいて再び関西での優勝に挑戦することを、部創立以来今年初めて出場する全日本の征服をこころみ、部一体となり前進して行きます。

### 自治会組織図



### 自治会所属サークル名

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| <体育局>             |             |
| 1. 空手道部           | 23. スキー同好会  |
| 2. 少林寺拳法部         | 24. 弓道愛好会   |
| 3. 自動車部           | 25. 柔道部     |
| 4. 野球部            | <文化局>       |
| 5. ワンダーフォー<br>ゲル部 | 1. 美術部      |
| 6. 山岳部            | 2. 基礎理論部    |
| 7. 硬式庭球部          | 3. グリーグラブ   |
| 8. 軟式 ツ           | 4. 音楽部      |
| 9. ラグビー部          | 5. 軽音楽部     |
| 10. サッカー部         | 6. マンドリン部   |
| 11. ボート部          | 7. 園芸部      |
| 12. 重量挙部          | 8. 無線部      |
| 13. バレー部          | 9. 科学部      |
| 14. ヨット部          | 10. 新聞部     |
| 15. バスケット部        | 11. 写真部     |
| 16. ハンドボール部       | 12. 囲碁将棋部   |
| 17. 剣道部           | 13. 茶道愛好会   |
| 18. 陸上部           | 14. 書道同好会   |
| 19. 水泳同好会         | 15. 応用設計同好会 |
| 20. ボクシング同好会      | 16. YMCA愛好会 |
| 21. サイクリング同好会     |             |
| 22. ユースホステル       |             |

計 41

# 学園便り

## 母校の人々



第2回目の同窓会誌を発行されるに際しまして、同役員及び同窓会員の方に心からお祝いとお慶びを申し上げます。特に役員方々の並々ならぬ御骨折り本当に御苦労さまです。

さて、私が本大学に勤務するようになりますから早や5回目の春を迎えようとしております。就任当初は現在のA, B, C, D号館しかなく、学生数、職員数もわずか現在の4分の1程度でここ数年の間にそれらの絶対数も莫大な数になりましたので忙しさに紛れて事務的に処理されてしま

教務部 笠間 美穂子

います。家族的に接觸した当時の皆様が懐しく思い出されます。白亜の殿堂を思わせるような建物も整然とされて広島工業大学の名も全国に知られるようになってまいりました。それに地元を始め全国の注目と期待も計り知れないものがあるようです。

こうした明日への飛躍と期待を背負って同窓生の方々、又そこに働いている私共も責任と誇りを持って前進して行きたいものです。

同窓生の皆様どうか御健康には充分お気を付けて立派な社会人として御活躍のほどを心からお祈り申し上げます。

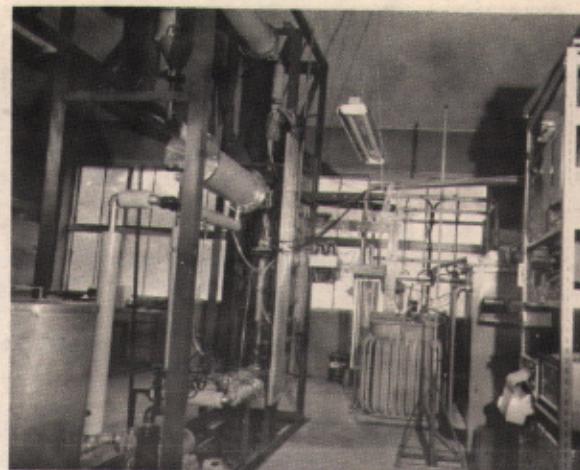
## 研究室訪問

### 北山研究室

昨年4月東北大より赴任して早1年経過せんとしていますが、その間にあっていろいろな問題に直面し解決ともつかぬ解決をして来たようになります。しかし、現在自分のまわりを見てみるとだんだんと研究及び学生の教育が出来るような雰囲気が育ちつつあることに気が付くようになりました。昨年12月に軽水ループ実験装置が完成し、又、今年2月に入って京都大学及び、日本原子力研究所と結んで回路素子及びICの放射線による照射実験が行なわれるようになり、又、8月には実用化段階に入ったレーザの基礎実験装置も入ることになっています。

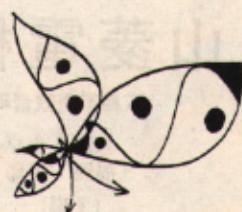
このような研究を盛んにするためには、まず、本学にあった研究体制を確立する必要があります。私はこの点について次のように考え、ばつばつ実行に移しつつあります。現在の研究及び今後の研究は決して一人で出来るようなものはありません。従って、第1に必要とされるものはよりよい人間関係であり、研究員の養成であります。本学においては旧帝大系の大学におけるような層の厚い研究室体制を取ることは無理かも知れませんが、しかし、それに近い研究をして行く機能を持った団体をつくることは可能であると思います。その方法としましては、自己の研究を中心として熱意のある学生を受け入れ4年生になるとこれを卒業研究にすること

す。昭和42年度は研究室の受け入れ体制が完全でなかったので卒業研究の学生のみに限定しましたが、昭和43年度以後は研究室内に4年次の学生を中心としたゼミを8分野について持ち、1, 2, 3年次の学生も参加出来るようにする予定です。次に、具体的に本研究室における昭和42年度の研究と、昭和43年度以後の研究計画も合せて紹介したいと思います。昭和42年度は約30名の卒業研究の学生を受け入れ、その内18名を軽水ループ実験装置関係に、他の学生を原子力関係の文献調査に当てました。軽水ループ実験装置における実験の目的は、原子炉の熱的設計において重要な因子の一つであるバーンアウト熱流束の実験データがばらつく原因の究明にあります。昨年12月ループ完成と同時に徹夜実験を行ない卒業研究を進めると同時に多くのデータを取り、強制対流バーンアウト熱流束について研究成果をまとめ今年5月福岡市で行なわれる第5回日本伝熱シンポジウムに発表のはこびとなりました。一方、この研究より派生した複針による探針式ボイド比測定器の開発研究の成果は8月に早稲田大学理工学部で行なわれる昭和43年度日本原子力学会の年会で発表することになっています。このように昭和42年度は卒業研究テーマを中心の学会の発表に数は少ないですが結びつけることが出来ました。原子力時代を迎え、その経済性が云々されるときにこのバーンアウト熱流束の問題を一刻も早く明らかにすることは我々研究に関係しているものの使命であると思えます。昭和43年度はこの軽水ループの計測機器をさらに精度のよいものにしてループ配管系の圧力波伝播の測定を行ないその原因の一端を究明する計画であります。又、今年度より新しく京都大学及び日本原子力研究所の研究設備を共同利用して、 $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、 $\gamma$ 線、中性子線及び陽子線による回路素子特に半導体



軽水ループ実験装置

及び最近脚光をあびているICの照射実験を行ないその特性変化の原因の究明を行なう予定です。次に、実用化近いオプトエレクトロニクスに着目し、He-Neガスレーザが入ることを機に、これを測定器にする実用化実験、変調、復調方式及び電子計算機への応用の可能性についての研究を開始する予定です。昭和42年度当研究室の第1回卒業生を出しますが、正直なところ今この学生諸君を出すのは非常に惜しい感じがします。当研究室においては今後紙のつながりを重要視し、研究会及び、親睦会を結成して先輩と後輩の関係を確立するとともに、実社会に出てても研究室との関係を保ち、半年に一度私に自己の研究報告をする機会を与えることを思っています。最後に研究室は学生が常に存在することによってその生命力を保つことを明記して筆を置きます。



# 電気計器・測定器・工業計器



代理店（主なメーカー）

株式会社 横河電機製作所  
横河ヒューレットパッカード株式会社  
日本電源機器株式会社  
株式会社 戸上電機製作所

## 新川電機株式会社

自社製品  
塩害予知装置その他  
精器工場、広島市光南三丁目2-27 TEL(41)7771  
東京・大阪・岡山・福山・島根・徳山・山口・高松・福岡

### 主 製 品

- 自動電圧調整器
- ボルト・スライダー
- 各種抵抗器
- エリミネーター電源装置
- 整流器
- 負荷装置
- 模擬送電線装置

自動電圧調整器



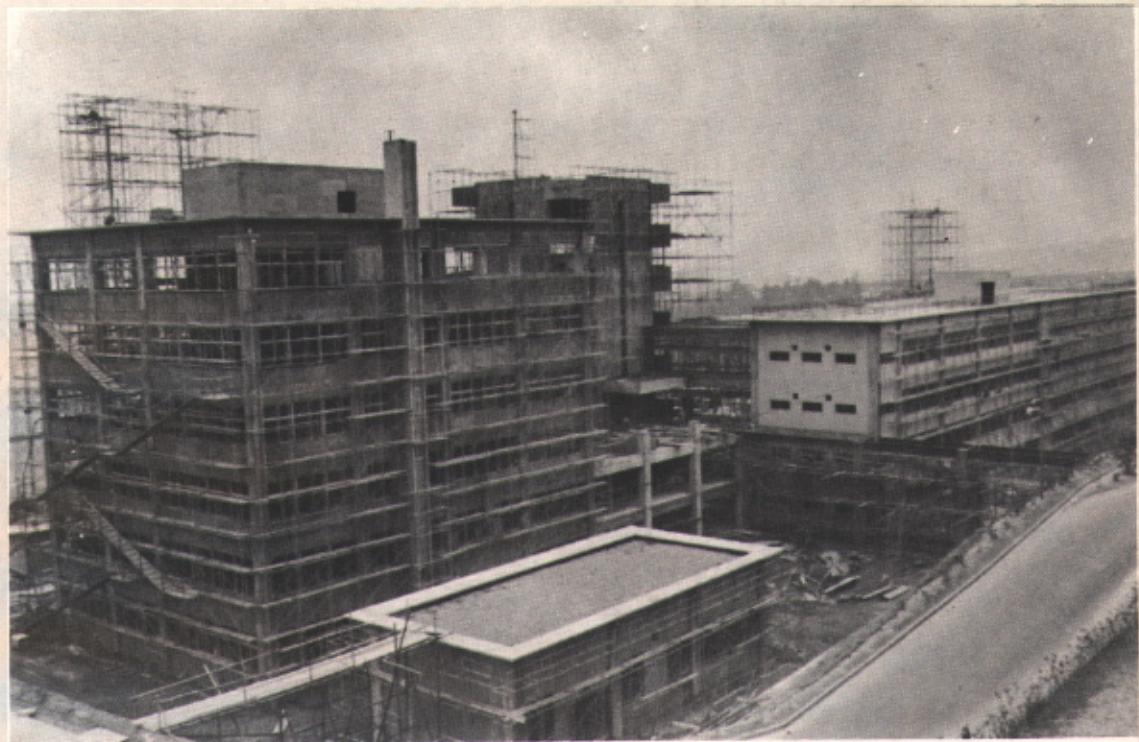
## 山菱電機(株)広島営業所

広島市南観音町13番18号 TEL (0822) 32-8336㈹

大阪・東京・仙台・名古屋・水戸・京都・兵庫  
福岡・徳島・新居浜

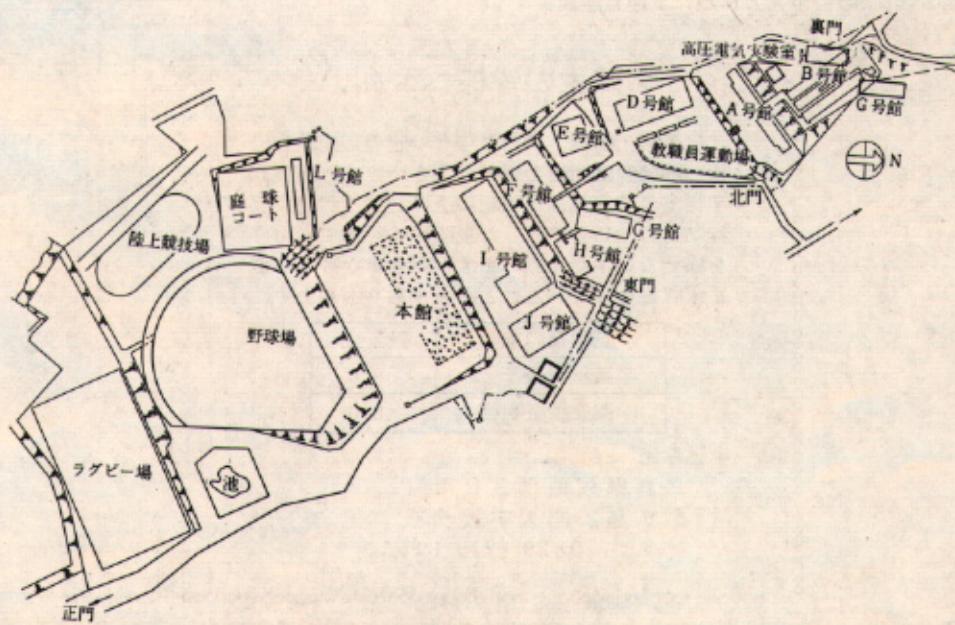
(工場) 大阪・東京・徳島

# 学園現況 ...写真紹介



建設中の本館

広島工業大学校舎配置図



## 就職状況

昭和42年度は経済界の状況を反映して、卒業予定学生の殆んど100%をそれぞれ希望する企業体に、送りこむことができたことを喜んでいる。部分的・個人的に見た場合、運不運があり意に満たぬ人もあったとは思うが、結局最後まで残った人々の多くは、その望む条件が非常に限られていたことに、その原因があったと思われる。

2月中旬現在の就職状況は別図の通りになっており、昨年度に比べ資本金1億円以上の大会社に就職したもののが多くなっていること、京浜地方への進出者が増加したこと、自動車業界の好況をそのまま輸送用機器その他の製造業等への進出が多くなったこと（これは機械工学科学生の第1回卒業とも関係するが）等が著しい。

この好成績は就職委員の各先生方とりわけ各チューターの先生方の並々ならぬ御骨折りによることはいうまでもないが、大手会社への就職の増加は、今年もまた鈴木正利教授の御骨折りに負う所が多かった。また本年度は鈴木教授と共に、5, 6, 7月の3カ月にわたり連日連夜学

就職委員会事務室長 蒲池玄三郎

生の指導に当られた、機械科の斎藤助教授の御功績も忘れてはなるまい。

同窓生諸君の職場転換の希望についても、余裕のある限りあっせんに努めているが、今の所余り成果は期待できない。

来年度は更に土木工学科・建築学科のそれぞれの第1回生を送り出すわけであるが、同窓生諸君の一層の御援助をお願いする次第である。

41	56%	17%	12%	10%	5%	地 域
		中国	京阪	その他		
42	55%	8%	16%	11%	10%	別

41	44.8%	13.3%	36.2%	11.7%	17.2%	83%	資 本 金 別
	10~1億 以下	3000 以上	1000万以上	500万 以下	300万 以下	公 ど う な ど	
42	25.1%	14.3%	29.5%	15.6%	7.2%	10.4%	51%

41	15.8%	33.8%	30.2%	6.7%	10.6%	産 業 別
	建設業	製造業	販売 サービス	飲食 サービス	宿泊 サービス	
42	18.8%	51.9%	17.3%	13.1%	11.6%	

### 卒業生の皆様へお願い

御卒業・転職・資格取得その他の必要から母校へ各種の証明書を御請求下さい。折は是非学科・卒業年月日を明記の上、返信用封筒に郵券貼付し、必要に応じた証明料（郵券でも可）を添えて頂きたく思います。料金お立替えのまま未収となっていることが多いあります。

証明書の種類	料 金
卒業証明書	30
学業成績証明書	50

#### 申込み先

広島県佐伯郡五日市町  
広島工業大学教務部  
TEL 0829 (21) 1151

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
X 同窓会便り X  
XXXXXX

## 広島工業大学同窓会

### ◆◆◆ 関東支部(仮称)結成について ◆◆◆

かねてから計画しておりました支部を、42年度新同窓生誕生を機会に結成致したいと思いますので、同窓会本部又は下記へ氏名、卒業年度、学科、勤務先、連絡先、電話番号をお知らせ下さい。

#### 発起人

41年度電子工学科	伊藤公正	(港通信機)
" 森脇信行	(東芝エンジニアリング)	
" 山門俊夫	(大栄通信工業)	
" 渡辺浩伸	(三和電気)	
" 務中公生	(東芝エンジニアリング)	
" 山本宏	(東芝)	

連絡先 横浜市港北区大豆戸町217 東芝菊名寮C322  
山本 宏

#### 会員の協力を乞う

#### 中原重男

新正会員の皆さん、御卒業おめでとうございます。

工大同窓会は皆さんの御加入を心から歓迎致します。

新に皆さん方を御迎えし、互に協力して、同窓会をますます発展させようではありませんか。

今日から皆さんは、工大卒業生として社会に卓立つてあります。一応の先輩として、一言申しあげます。何と言っても健康第一です。特にこれからは生活環境が変るので、健康には十分注意し、さらには職場にあっては絶対に傷害事故を起きないように注意して下さい。次に大学卒業生の世の中とは言え、職場に入れば、やはり大学卒として、そうとうの期待をかけられる立場にあります。その期待にこたえられるか否かによって皆さんのが将来が決定されます。

卒業してもそれで勉強が終ったのではなく、新しい勉強の出発点と考えて、勉強を続けて下さい。

さらに職場に入ったならば、まづ現状を十分把握して、しかるのちに改革と向かって下さい。

皆さんに職場が望むのは現状の維持ではなく、よりよい方向に向かっての改革であり発展の原動力となつてもらうことです。

次には人間関係を大切にして下さい。よりよい人間関係をつくるために積極的に努力して下さい。現在社会では一人では何もできません。同じ職場の仲間との人間関係を大切にすることは勿論ですが、さらにより広く他の職場の者との交流をすることも大切です。さしあたり同じ地域の職場に就職している工大同窓会員との交流をもつことが最も手近かな方法と考えられます。

工大同窓会も支部の結成を奨励していますか

ら、それぞれの地域において支部を結成して、工大卒業生同志が互に協力して、己自身のため、更に母校の名誉のため発展されるよう御願い致します。

去るものは日々に疎しか申します。卒業すれば四年間も机を並べて学んだ仲間とも離れ離れになり、又、大学との繋がりも次第に粗縫になってきます。そのようななかにおいて学友や大学との繋がりを保てる唯一の機関となるのが同窓会であります。

役員一同同窓会をますます充実し発展さすべく努力しています。

同窓会発展のための橋頭堡ともなるべき同窓会館の建設を次の重要事業の一つとして計画しています。創刊号にも掲載しましたが仮称同窓会館の必要の有無・資金・規模・建設場所・設備・建設時期等についての意見を求めてます。同窓会としては広島近辺に建設し、まず同窓会本部をおき、さらに皆さんのが広島方面出張に対しでは実費で宿泊できるような宿泊設備をもち、会議場、宴会場等を備えたものにしたいと考えています。

このような事業を起すにしても、まず同窓会員の数が相当に増加しなければ不可能であります。現状は正会員の人数も少なく、人員的にはまだ弱体です。そこで各年度別の正会員を見ても、お解りのように41年度卒業生の方には準会員のかたがそうとうに居られます。皆様方のものである同窓会の正会員として加入されることを心から望みます。

最後に同窓会の最大行事である、次期総会に会員全員の御出席を御願い致します。より多くの会員からの意見が健全な同窓会の発展を促ながし、話合うことがお互の連帯感をつよめることになります。さらに離れ離れになつた友との再会、諸先生方との歓談等実に懐しく楽しいものです。全会員の方々の一層の御協力と今後の御活躍をお祈り致します。

議事録

(昭和42年4月1日～昭和43年3月31日)

昭和42年5月21日(日)

※ 役員会

- 同窓会誌創刊号についての反省会
- 同窓会の法人化について検討
- 定期刊行物として同窓会会報の発行を企画

昭和42年9月3日(日)

※ 役員会

- 同窓会会報第1号編集
- 発行予定日を10月10日に決定
- 支部結成の推進を計る事を決議

昭和42年7月2日(日)

※ 役員会

- 第2回定期総会の日取りを8月18日に決定
- 総会提出議案について審議
- 旅費規定案、慶弔費規定案等を作成

昭和42年12月24日(日)

※ 役員会

- 同窓会誌第2号発刊に関して審議
- 発行予定日を昭和43年3月27日と決定

昭和42年8月18日(日)

※ 第2回定期総会

- 決議事項は同窓会会報第1号に記載すみに  
付き省略

昭和43年2月25日(日)

○ 同窓会誌第2号編集

- 昭和42年度卒業生記念品を灰皿に決定

~~~会計報告~~~

昭和42年度会計中間報告

| 収入の部         |           | 支出の部  |           |
|--------------|-----------|-------|-----------|
| 前年度繰越金       | 1,053,516 | 通 信 費 | 86,887    |
| 入会金          | 372,500   | 備 品 代 | 90,800    |
| 終身会費         | 1,230,000 | 会 議 費 | 17,220    |
| 寄付金(41年度卒より) | 2,500     | 交 通 費 | 22,520    |
| 広 告 料        | 11,000    | 会報発行費 | 48,556    |
| 懇親会費         | 20,800    | 懇親会費  | 34,680    |
| 預金利息         | 10,896    | 慶弔費   | 3,180     |
|              |           | 消 耗 品 | 18,510    |
| 計            | 2,701,212 | 残 高   | 2,434,359 |
|              |           | 計     | 2,701,212 |

単位：円 昭和43年2月26日現在

## ◆◆◆ 編 集 後 記 ◆◆◆

水ぬるむ春の訪れに、厳しかった冬の寒さや大雪が思いおこされる昨今、会員の皆様にはお元気で御活躍のことと心よりおよろこび申し上げます。

同窓会も今年は新しく機械工学科の卒業生を迎える800余名の方が正会員となられました。これまで正会員は電子・電気両学科の卒業生のみで不均衡な感がありましたが、今年の機械工学科につづき来年度は土木工学・建築学科さらには経営工学科と2年後には全大学科の卒業生を正会員として迎えることになります。会員数の増加に伴い同窓会の活動や運営にも難問題が立ちはだかる事と思われますが、充実した同窓会

へと発展さすため今後とも会員諸兄のいっそくの御協力を企願致します。

さて、昨年の創刊号につづき同窓会誌第2号が出来ましたのでお届け致します。今回は少し趣きを変えて表紙には丁号館の写真をのせました。これからも学内風景や建物等シリーズでのせるといった案も出ております。表紙に限らず建設的な御意見や御寄稿をどしどしあよせ下さるようお願い致します。

最後に、御寄稿を賜わりました諸先生、会員諸兄並びに広告を掲載していただいた商社の方方に厚くお礼申し上げます。

会員皆様の御隆盛を祈ってやみません。

### 訃 報

#### 準会員

電子工学科 中田昌則（昭和42年3月31日）

機械工学科 黒田正芳（昭和42年7月17日）

謹んで哀悼の意を表します

|       |                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 会誌発行者 | 広島市外五日町三宅<br>広島工業大学同窓会                                      |
| 発行責任者 | 中原重男                                                        |
| 編集責任者 | 石川勲                                                         |
| 印刷所   | (有)広島プリント社<br>代表取締役 藤井典美<br>広島市千田町1丁目3番5号<br>TEL 代表 41-5791 |



みなさまの電化センター

# 第一産業

広島市紙屋町バスセンター前  
電話（大代表）47-9111

## 建築木材一式

大和製材株式会社

広島市庚午北2丁目9~29  
電話⑦1 1672・3331

画面が鮮明・テープの互換性が完全

**シバテンビデオSV-700H**



価格 175,000円



芝電気株式会社・シバテン商事株式会社

本店販売部 東京都千代田区外神田2-1-2 本店営業所 大阪市北区梅田町2-2-1シティビル  
TEL 03-5541-1850 (03) 5541-1850 (06) 332-1111 (072) 22-5541-1850 (072) 22-5541-1850  
販賣部 東京支店 東京都新宿区西新宿2-1-11 仙台支店 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1  
名古屋支店 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 福岡支店 福岡市中央区天神2-1-1  
大阪支店 大阪市北区梅田2-1-1 札幌支店 北海道札幌市中央区南2-1-1  
高松支店 高松市中区大手町1-1-1 本郷支店 東京都文京区本郷2-1-1  
長崎支店 長崎市若松町1-1-6 (03) 332-1850 (095) 460-1850 (095) 460-1850  
高知支店 高知市本町1-1-6 (080) 332-1850 (090) 332-1850

乗りたい人…習いたい人のために  
県下で最も完備した自動車教習所！

△敷 地 17,800m<sup>2</sup>  
△コース面積 14,500m<sup>2</sup>  
△外周巾員 14m

### ■普通

(公認学校指定申請中)

広 島 西 部 自 動 車 教 習 所

広島県佐伯郡廿日市町串戸港  
電話 廿日市 (0829) 31-2271(代)

エレクトロニクスの総合商社  
日本電気株式会社・日本通信工業株式会社  
東京電気化学工業株式会社・安立電気株式会社  
(株)高砂製作所・多摩電気工業株式会社・特約店



## 新光商事株式会社

広島 広島市国泰寺町1丁目3-19

TEL (45) 3208(代)

本社 東京都目黒区1丁目1-5号

TEL (719) 2111(代)

営業所 宇都宮・日野・松本・埼玉・神奈川

## 新刊図書・雑誌・教科書

## 溝本積善館書店

本店 広島市千田町一丁目(広大正門前)

支店 広島市己斐町ひろでん会館四階

新発売

国産技術による  
初の電子複写機



## 電子コピスター207

正価 330,000円

お問合せ・カタログ  
のお申込みは

三田工業株式会社

本社 大阪市東区宮林町5 電 (761) 1171 (大代)  
支店 東京 (電)(502) 3151・名古屋 (電)(881) 1531~7・大阪 (電)(761) 1171  
神戸(電)(67) 3045~8・広島 (電)(61) 2277・福岡 (電)(76) 1331

ボタンをポン  
——ハイ できあがり

立体物も  
白地にくっきり

複数のようにコピーします。 単面といえば  
①原稿をのせて②プリントボタンを押すだけ。  
※最新ギャラクスは複数サイズそろった紙やカーボン  
トランジスタ(35×44×84、各55枚入り)  
〔枚1枚もうろこで入れる面倒はゼロ。※送り  
は完全自動(自動給紙)。 1枚1枚毎らずで  
仕上がりります。〕

なんでもコピーします。※書類事典などの部  
厚い書籍・新聞などの両面印刷・色刷り原  
稿、それに※墨書き立体物まで、ハイテー  
ンも当地にくっきり鮮明に再現します。

※最高24枚まで連続コピー。  
※最大複数サイズは40×64(横)×20(縦)cm。  
※複数原稿は1:1(第一原稿と同じ大きさに仕  
上げます)。

※複数・複数・複数の複数の複数ができます。

※複数の複数工事は不可。(複数は100V10A)。

# 圓井の コンクリート アスファルトル ソイ 試験機

測量機械 試験機

製図用品 秤 事務用品

株式会社



## 筒 井 測 器

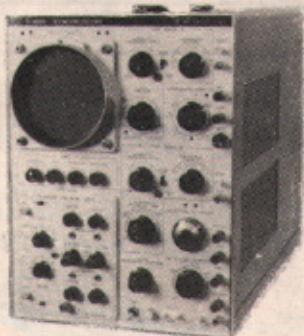
本店 広島市紙屋町二丁目一番十号

TEL (47) 4441~4443

出張所 福山・徳山・東京

© Hitachi, Ltd.

## 日立シンクロスコープ



V-1000 DC~100MC

主取扱製品

日立アナログ電子計算機  
日立データー集録装置  
日立卓上計算機  
日立ティーチングマシン  
日立電子顕微鏡  
他日立製品

RCA(米)製品輸入販売



### 日製産業株式会社 広島営業所

広島市基町11番13号(第一生命ビル四階) 電話 ④ 4511 (代表)

# 広島工業大学同窓会会則

## 第一章 総 則

第1条 本会は広島工業大学同窓会と称する

第2条 本会は本部を広島工業大学内に置く、但し総会で必要と認めた場合に支部を置く事を得る

第3条 本会は会員相互の交誼を厚くし、かつ母校の発展に貢献することを目的とする

第4条 本会は前述の目的達成の為に下記の事業を行なう

### 1. 集 会

1. 会員相互の連絡並びに共助に関する事
1. 会報及び会員名簿の発刊
1. 母校に対する精神的・物質的援助
1. その他本会の目的達成に必要な事

## 第二章 会 員

第5条 本会は下記の者を以って組織する

1. 準会員 広島工業大学在学生、その他役員会で適當と認められた者
1. 会 員 広島工業大学卒業生、但し広島工業短期大学卒業生を含む
1. 客 員 母校職員及び旧職員

## 第三章 役 員

第6条 本会は下記の役員を置く

- |         |     |         |     |
|---------|-----|---------|-----|
| 1. 名誉会長 | 1名  |         |     |
| 1. 会 長  | 1名  | 1. 副会長  | 2名  |
| 1. 会 計  | 2名  | 1. 会計監査 | 2名  |
| 1. 幹事長  | 1名  | 1. 幹 事  | 若干名 |
| 1. 評議員  | 若干名 |         |     |

第7条 本会の役員は次の方法で決める

1. 名誉会長は広島工業大学現学長を推す
1. 会長、副会長、幹事、会計、会計監査、評議員は総会で正会員の中から選ぶ
1. 幹事長は幹事の中から互選する
1. 幹事は総会の議決により母校出身の中から委嘱する

第8条 各役員はそれぞれ次の任務をもつ

1. 会 長 本会を代表し会務を統べる
1. 副会長 会長を助け会長に支障がある時は代理する
1. 会 計 会計事務に當る
1. 会計監査 会計を監査する

1. 幹事長 会務を主掌する
1. 幹事 会務を処理する
1. 評議員 会務を評議する

第 9 条 役員の任期は一ヵ年とし再任をさまたげない、但し欠員は役員会にはかり補充しこれによつて就任した者の任期は前任者の残りの期間とする

#### 第四章 顧問

第 10 条 この会に顧問若干名をおく

1. 顧問は総会の議決により適任者を委嘱する
1. 顧問は会の諮詢に応ずる

#### 第五章 会議

第 11 条 会議を分けて定期総会・臨時総会及び役員会とする

第 12 条 総会は最高の議決機関で毎年 8 月に開く臨時総会は役員会が必要と認めた時会長が招集する

第 13 条 総会は次のことを決める

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. 会則の変更と改正 | 1. 決算及び予算  |
| 1. 役員の改選    | 1. その他重要な事 |

第 14 条 役員会は会長が必要と認めた時招集し、次のことを決める

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 総会に附議する原案  | 1. この会の運営に関する諸事項 |
| 1. その他緊急事項の協議 |                  |

第 15 条 会議の議決は正会員の参加者の過半数をもって決定し、賛否同数の時は議長がこれを決定する

#### 第六章 会計

第 16 条 この会の経費は終身会費、寄付金及びその他の収入をあてる

1. 準会員は入会金として入学時に 500 円を納入しなければならない

第 17 条 準会員は正会員となる時終身会費として 5,000 円を納めなければならない

- 1.1 度納めた会費は返還しない、但し納入は 4 年度前期、後期に分納するものとする

第 18 条 この会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る

#### 付 則

この会則は昭和 41 年 3 月 27 日から施行する

昭和 41 年 8 月 17 日一部改正

# トアコン・ドラフター

測量機械

製図機械

セキレイ 製図紙 発売元  
試験機・気象機械・復写機・事務器



株会  
式社

# ジツタ

広島支店

広島市富士見町16~2 TEL 41~5166  
本社 東京都中央区日本橋小伝馬町三~三  
大阪・岡山・徳山・松山・高知・高松・徳島・新居浜



〈当社施工の広島工業大学I.J号館〉

未来をひらく



# 藤田組

取締役社長 藤田一暁

取締役支店長 井関章

本 社／東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15

広島支店／広島市国泰寺町2-3-23

支 店／横浜・名古屋・大阪・福岡・札幌

## ■営業品目

電話交換装置・電話機及宅内機器・無線装置  
搬送装置・荷物輸送・宇宙エレクトロニクス機器  
データ通信装置・電子計算組織・電子計算機応用装置  
計測通信制御装置・電子応用装置・表示装置  
音響機器・電子部品



富士通株式会社

広島営業所

広島市基町十三番七号

(朝日ビル)

電話広島 (0822) 21-2288代

紳士服・学生服

株式会社 いとや

本店 広島市本通一丁目

T E L ④71022 ④81338

支店 広島市皆実町二丁目

T E L ⑤10548

支店

広島市己斐ひろでん会館三階

T E L ⑦13600

工大指定教習所

広島市外五日市町西隅之浜バス停留所前

楽々園自動車教習所

電話五日市②1 1425番

# 試験機・測定器・精密機器 の綜合商社

主要取扱いメーカー

株式会社島津製作所  
岩崎通信機株式会社  
昭和電機製造株式会社  
安藤電気株式会社  
山菱電機株式会社  
メトロニクロ株式会社

新興通信工業株式会社  
東京プラント工業株式会社  
国際機械振動研究所  
株式会社東京機械研究所  
株式会社渡辺測器製作所  
三栄測器株式会社

## 株式会社 丸島サイエンス

本 社 広島市金屋町2番20号  
電話(0822)61-3171

東京支店 東京都渋谷区代々木二丁目20番5号  
電話(03)370-7471

福山出張所 福山市御門町一丁目3番3号  
電話(0849)23-3036

呉出張所 呉市草里町51  
電話(0823)22 1444

山 口 店 山口市大字鰐石10番地  
電話(08392)2-1816

# めじるしは《花》

お近くの窓口がお役に立ちます



花いっぱいの明るい暮らし……

● 広島相互銀行